

令和5年2月作成版



『福祉教育出前講座』

目 録



社会福祉法人
二本松市社会福祉協議会

❁ もくじ

はじめに

- ▶ 福祉教育出前講座について

テーマ別メニュー

- ▶ テーマ #1 「高齢者理解1(高齢者疑似体験)」
- ▶ テーマ #2 「高齢者理解2(認知症)」
- ▶ テーマ #3 「障がい理解(身体)・車いす体験」
- ▶ テーマ #4 「障がい理解(聴覚)・手話講座」
- ▶ テーマ #5 「障がい理解(視覚)・点字・ブラインドウォーク体験」
- ▶ テーマ #6 「UD(ユニバーサルデザイン)学習」
- ▶ テーマ #7 「読み聞かせ活動体験」
- ▶ テーマ #8 「福祉・ボランティアについて」
- ▶ テーマ #9 「防災教育」
- ▶ テーマ #10 「障がい者スポーツ」
- ▶ テーマ #11 「国際協力」

資 料

▶ 『福祉教育出前講座』申込書

資料 1

▶ 「福祉体験学習」実施計画（例）

資料 2

はじめに

- * 社会福祉協議会（社協）は、地域福祉を推進している団体であり、様々なネットワークがあります。
- * 学校や福祉関係者、地域住民との協働によるプログラムを通して、ボランティア活動のきっかけづくりや福祉の心、ともに生きる力を育むことを目指しています。
- * 学習プログラムの企画提案や市民講師等の調整など、福祉に関する皆さんの「学びの気持ち」をカタチにするお手伝いをします！
- * ぜひ、社協へご相談いただき、ご活用ください😊



社会福祉協議会（社協）とは…

社会福祉法（平成12年6月改正）第109条で「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と定められており、「地域福祉を推進する民間の社会福祉法人」として、全国の各都道府県や各市町村に一つずつ設立されています。

幅広いネットワークを持つとともに、民間組織としての「自主性」と広く住民の皆さんや社会福祉に関係する皆さんに支えられた「公共性」という、二つの側面を併せもつ営利を目的としない福祉団体です。

二本松市社協は、平成17年12月に旧二本松市、安達町、岩代町、東和町が行政合併したことに伴い、4市町社協も合併し、新しい法人を設立しました。

『ふれ愛、たすけ愛、ささえ愛のまち、二本松』を基本理念とし地域に根差し、市民生活に沿ったきめ細かな事業を推進していきます。



❁ 福祉教育出前講座について（要項）

1 目 的

身近な社会資源を活用しながら、体験や交流を通じ、「ふくし」について学ぶ機会を提供し、生涯を通して福祉教育を推進することで市民の皆さんの地域福祉に対する意識付けに繋げ「福祉の心を育てる」ことを目的として実施します。

2 実施主体

社会福祉法人二本松市社会福祉協議会

3 対 象 者

二本松市内の小・中学生及び高校生、団体、企業等

4 実 施 日

要請により協議のうえ、随時開催とします。

5 実施内容

- (1) 申込書に基づき内容を協議し、外部講師が必要とされる場合は、（社会福祉機関・団体及びボランティア関係者等）との協議、調整をして、派遣を決定します。
- (2) 外部講師の講師謝礼、実費弁償費、旅費、消耗品などは、原則として依頼があった団体の負担とします。

6 実施までの流れ

- (1) 申込みを希望する団体は、別紙「二本松市社会福祉協議会『福祉教育出前講座』申込書」（資料1）により申込みます。
※実施予定日の最低一か月前までにはご連絡願います。
- (2) 申し込みのあった団体と実施内容、実施日を協議し決定します。
- (3) 外部講師が必要とされる場合は、調整し講師派遣を行います。
また、必要に応じ訪問のうえ、事前の打ち合わせを行います。
- (4) 災害や感染症等により急遽、講師派遣等を中止する場合がありますので、予めご了承ください。

テーマ別メニュー

- * 各テーマ・タイトル・進め方は一例です。
- * 体験後は当事者とのふれあいや交流、学習のまとめを発表する場をつくっていただくことをお勧めしています。
- * プログラムは、学校のねらいや要望を汲みながら先生と協議のうえ、組み立てていきますので、ご相談ください。

当日の講座風景を撮影し広報する事がありますので、参加者のみなさんには事前に周知願います。



#1 高齢者理解I

タイトル：歳をとるってどんなこと？（高齢者疑似体験）

ねらい：

- * 高齢者の身体的な状態と気持ち（心理）を理解する。
- * 高齢者に対しての接し方、支援の仕方を学ぶ。

進め方：2～3 コマ（90～120 分）

- （例）・「歳をとる（加齢）」についての講話（30 分）
- ・疑似体験（60～90 分）
 - 各用具と装着方法の説明
 - 歩行（身近な場所を歩いてみよう）
 - 手作業（箸、ハサミ等）体験

準備物：

- 動きやすい服装（体操着等）
- 廊下や階段等、学校内ルート確保



留意点：

- ・講師謝金（無料）
- ・事前に会場下見をする場合あり

講師：

- ・福島県社協（介護実習・普及センター）
- ・二本松市社協 他



2 高齢者理解2

タイトル: 認知症ってなに? (認知症サポーター養成講座)

ねらい:

- * 友達や家族等、身近な人に優しく接することを学ぶ。
- * 認知症を正しく理解する。
- * 認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう。

進め方: 2 コマ (90~120 分)

(例)・「認知症について」の講義

- ・ 認知症
- ・ 介護予防ゲーム体験
- ・ オレンジリングの配布



準備物:

- ・ PC、プロジェクター、スクリーン

留意点:

- ・ 講師謝金 (無料)



講師:

- ・ 二本松市職員
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 福島県社協
(介護実習・普及センター)

他



3 障がい理解(身体)**タイトル：触って、乗って、車いす体験！（講話・体験）**

ねらい：

- * 車いすを利用している人の気持ちを想像し考え、身近な障壁「バリア」に気づき、理解する。
- * 障がいがあるということは、特別なことではなく、自分にも関係があるということに気づく。
- * 自分に何が出来るかを考え、思いやりのところを育てる。

進め方：2コマ（90～120分）

（例）・車いすを使っている人や

車いすの使い方の説明（20分）

- ・体験（自走、介助）（60分）
- ・まとめ（10分）

体験して学んだことを振り返り、自分に出来ることは何かを考えてみる。



準備物：

動きやすい服装（体操着等）

体育館等広いスペースの確保



留意点：

- ・講師謝金（無料）

講師：

- ・福祉用具販売レンタル業者等
- ・二本松市社協職員 他



#4 障がい理解(聴覚)

タイトル：聞こえないってどんなこと？

(講話・手話学習)

ねらい：

- * 障がいについて理解する。
- * 障がいがあるということは、特別なことではなく、自分にも関係があるということに気づく。

進め方：2コマ(90～120分)

(例)・聴覚障がいの理解(ろう講師からの講話)

障がいや日常の生活等についてお話を聞きます。

・手話を学ぶ

あいさつ、単語、名前、部活動名等

・まとめ

体験して学んだことを振り返り、自分に出来ることは何かを考えてみる。

準備物：

当日資料の印刷、PC、プロジェクター等

留意点：

- ・ろう講師と通訳講師の2名で対応。
- ・講師謝金(1回一人5,000円)

講師：

- ・二本松聴力障がい者会
- ・二本松手話サークルこぶし会 他



#5 障がい理解(視覚)

タイトル：見えないってどういうこと？

(点字・ブラインドウォーク体験)

ねらい：

- * 障がいへの理解を深める。
- * 障がいがあるということは、特別なことではなく、自分にも関係があるということに気づく。

進め方：2コマ(90~120分)

(例)・点字講座

- ・ブラインドウォーク体験
- ・まとめ

体験して学んだことを振り返り、
自分に出来ることは何かを考えてみる。



準備物：

目に当てるハンカチ(ハンドタオル)、
筆記用具



留意点：

- ・講師謝金(1回 3,000円)

講師：

- ・NPO法人にじの会
- ・公益社団法人
福島県視覚障がい者福祉協会 他



6 UD (ユニバーサルデザイン)

ユニバーサルデザイン
タイトル： U D って何?? (講話・スゴロク体験)

ねらい：

- * バリアフリー及びユニバーサルデザインの考え方を知る。
- * 身近なところにも、誰もが暮らしやすいためのさまざまな工夫があることに気づく。

進め方： 2コマ (90～120分)

(例)・UD って何? (講話)

- ・体験! UD すごろく (卓上または、大型)
- ・まとめ

準備物：

動きやすい服装 (体操着等)
体育館等の広いスペースの確保

留意点：

- ・講師謝金 (1回 5,000円程度)

講師：

- ・NPO 法人
ユニバーサルデザイン・結
- ・福島県 他



#7 読み聞かせ活動

タイトル：やってみよう！読み聞かせ♪（講話・体験）

ねらい：

- * 読み聞かせを通して、他者を思いやる心を育てる。
- * ボランティア活動の意味を理解する。

進め方：2コマ（90～120分）

（例）・読み聞かせボランティア活動について（講話）

- ・団体から実際の読み聞かせ活動を披露
- ・読み聞かせ体験
- ・読み聞かせの指導
- ・グループワーク（練習）
- ・発表



準備物：

PC、プロジェクター、スクリーン、
マイク、長机等



留意点：

- ・講師謝金（1回 5,000円程度）

講師：

- ・児童図書研究グループトトロ 他



8 福祉・ボランティア

タイトル：「福祉・ボランティア」って何？（講話）

ねらい：

- * 福祉やボランティア活動について理解する。
- * 身近な社会資源の発見や意識付けをする。
- * 自分にもできるボランティア活動について考える。

進め方：0.5～1コマ（30～90分）

（例）福祉学習体験前の導入として、福祉やボランティアの概要をお話します。時間調整や単独での実施も可。

※その他、地域福祉活動や介護等の内容も可能です！

- ・ 地域福祉活動の紹介
- ・ 赤い羽根共同募金について
- ・ いきいきサロンについて
- ・ 生活相談（日常生活自立支援）について
- ・ 介護について
- ・ 学童保育について
- ・ 障がい者スポーツ（ボッチャ等）について 等

準備物：

PC、プロジェクター、スクリーン

留意点：

- ・ 講師謝金（無料）

講師：

- ・ 二本松市社協職員・ボランティア団体・個人 他



9 防災教育

タイトル:まもるいのち、ひろめる防災

ねらい:

自然災害は、様々なことが起こります。危険回避ができ、「自分のいのちを自分で守る」行動ができるようにする。

進め方: 2コマ (90~120分)

- (例)・学校で地震がおきた時どうする。
・災害がおきたらどうすればいいの?
・まとめ

準備物:

プロジェクター・スクリーン・PC

留意点:

講師謝金 (無料)

講師:

日本赤十字社福島県支部職員

日赤奉仕団 他

おさない



もどらない



はしらない



しゃべらない



#10 障がい者スポーツ（講話・体験）

タイトル：障がい者スポーツを体験してみよう！

ねらい：

障がい者スポーツに関心を持ち、障がいをもつ人との関わり方やサポートについて考えようとする気持ちを育てる。

進め方：2コマ（90～120分）

- （例）・ボッチャ
・フライングディスク
・車いすバスケット
・まとめ

準備物：

動きやすい服装
養生テープ



留意点：

講師謝金（1回 5,000円程度）

講師：

福島県障がい者スポーツ協会

福島県身体障がい者スポーツ指導者協会県北支部 他



#11 国際協力

タイトル：世界でどんな活動をしているの？
いろいろな文化の紹介

ねらい：

世界の現状や途上国の暮らしを知る。
国際協力について学び、自分になのができるか考える。

進め方：1～2コマ（45～120分）

- （例）・協力隊での支援活動について（講話）
- ・ワークショップ
 - ・まとめ

準備物：

プロジェクター、机、模造紙

留意点：

講師謝金（1回5,000円程度）か（無料）

講師：

独立行政法人国際協力機構
二本松青年海外協力隊訓練所



資 料

* 申込書は、本会ホームページでもダウンロード可能です。

なお、E-Mail でデータ (Word 形式) でのお渡しも可能ですので、お問合せ先のメールアドレスへお知らせください。

(ホームページアドレス <http://nihonmatsushisyakyo.or.jp/>)

(E-Mail アドレス chiiki1@nihonmatsushisyakyo.or.jp)

* 計画書例 (資料2) のような簡単なもので構いませんので、学校側のねらいや目的等が記載された資料 (任意様式) の添付をお願いします。

申請書や計画書作成の中で、
ご不明な点やご不安な点がありましたら
いつでもご相談ください♪



資料1

二本松市社会福祉協議会 『福祉教育出前講座』 申込書

令和 年 月 日

○ 申込者

団体（学校）名・代表者名 または 個人の名称		印	
連絡先	担当者氏名		
	住 所	〒	
	電 話		FAX
	E - m a i l		

確認事項

- * 円滑な運営と事業の効果の為に、必ず事前に詳細な打合せをおこないます。
最低でも1カ月前までにはご連絡ください。（講座内容・時間・協力体制など）
- * 講師や担当職員の都合上、日程などの希望にそえない事がありますのでご了承ください。
- * 当日の講座風景を撮影し広報する事がありますので、参加者には事前に周知ください。

このことを了承したうえで、「福祉教育出前講座」を下記のとおり申し込みたいとします。
記

○ 申込内容

開催希望 日 時	令和 年 月 日 () 令和 年 月 日 () ※複数日は予定表などを添付 時 分から 時 分まで
会 場 名	(会場名称)
	(所在地)
	(電話) (fax)
希望内容	※具体的にご記入ください。 (ねらい・テーマ)
	(希望内容・講師)
	(具体的な時間・実施教室名)
	(予定参加人数・学年)
実施方法	<input type="checkbox"/> 出前講座単独で実施 <input type="checkbox"/> 他の会合などとあわせて実施
添付書類	<input type="checkbox"/> 実施計画書（予定表） <input type="checkbox"/> その他 ()

資料2

「福祉体験学習」実施計画（例）

- 1 目的：地域福祉に関心を持ち、高齢者や障がいのある方に対する理解を深めるとともに接し方や関わり方について学び、思いやりの心を育む。
- 2 対象：二本松市立〇〇〇学校 △学年（◇クラス□□名）
- 3 日時・内容：

【1日目】 令和〇年△月◇日（□） 8：30～11：30

8：30	◆講話「福祉・ボランティアとは？」
9：10	◆講話・高齢者疑似体験「歳をとるってどんなこと？」
10：30	◆ふりかえり 講話・体験をとおして感じたこと、気づいたこと、考えたことなどをふりかえる。
11：30	終了

【2日目】 令和〇年△月×日（□） 8：30～11：45

8：30	◆オリエンテーション（全体） 今日の学習についてのポイントや注意点等を説明
9：00	◆分野別福祉体験学習（選択制） ※下記①～③其々希望するコースに分かれ、受講する。 ①「視覚障がい」について理解を深める・体験 点字・ブラインドウォーク体験等を予定
※適宜休憩	②「聴覚障がい」について理解を深める・体験
	③「高齢者」について理解を深める・体験 (認知症サポーター養成講座（学生向け）)
11：00	◆まとめ 2日間の学習のまとめ（アンケート実施）
11：45	終了

- 4 その他：・講師調整等により、学習内容は変更する場合がある。
・講師謝礼等については、学校側で負担する。

❀ お問い合わせ・お申し込み先 ❀

社会福祉法人二本松市社会福祉協議会
地域福祉課 市民活動推進係（ボランティアセンター）

TEL 0243-23-7867

FAX 0243-23-9046

E-mail chiiki1@nihonmatsushisyakyo.or.jp

HP <https://nihonmatsushisyakyo.or.jp/>



ホームページ